

(10) ③ a 「放課後デイ」を利用するなら、いつ利用したいか

豊中支援では、平日・長期休み中ともに同じ位の希望があるが、ゆうやけ、つばさ、箕面支援では、長期休み中の利用の希望が多かった。

(10) ③ b、c、d 利用頻度と利用希望時間

上記のデータに関しては、事業所へ渡します。

(10) 「放課後デイ」の記述

(10) ④ 「放課後デイ」で平日どのように過ごさせたいか

ゆうやけ・豊中支援校・箕面支援校共に『リラックス・休養』の数が多い。学校で頑張った疲れを癒す場として求められている。つばさでは『本人が楽しめる事』が一番多く、リラックスがそれに続く。

他にも、宿題・遊び・おやつなど、放課後家庭で行うような事柄が多い。学童保育と同様の内容を期待するものもある。

以下、希望者が多い順に並べ、記述内容を記載する。

a.リラックス・休養 56件

- 学校でがんばってから行くので、自分のペースでリラックスできたら。
- ストレッチできる、ゆっくり寝られる場所が必要。
- 学校で嫌なことがあった時は、リセットして楽しい気分になれるようにしてほしい。

b.友達と遊ぶ・交流 35件

- 遊びの提供。友達と一緒に遊べる様、指導員がかかわってほしい。
- ひとりっこなのでサポートのある中で友達と過ごさせてあげたい。

c.宿題・勉強 25件

d.おやつ 4件

e.その他

外遊び 3件      社会性を育てる 3件      ルールのある遊びをする 3件  
タイムスケジュールを決めて過ごす 3件      スポーツ 2件      訓練 2件  
学童と同様に健常児も一緒にいるべき 2件      …等

(10) ⑤ 「放課後デイ」で夏休みはどのように過ごさせたいか

『リラックス・休養』が減少し、『規則正しい生活』が増えている。

スケジュールにそった生活が求められる反面、本人の自由時間も重要視されている。外出・買い物、プール・外遊び、参加自由のイベント等、平日にはない活動的な要望がある。

訓練希望件数が、平日の2件から5件と増えている。ストレッチ希望も平日は0件だが、2件ある。

以下、件数が多い順に並べる。

a.友達と遊ぶ・交流 46件

- 家で遊ぶようなテレビゲームなどは使わず、子どもたちでできる楽しい遊びを。
- みんなで協力して一つの物を作り上げたり、集団ゲームなどを楽しんでほしい。
- 家でも学校でもない、ある程度人との関わりを学び、型にはめすぎない過ごし方。
- 知っている友達とリラックスして楽しい事をしてすごせたら。コミュニケーション・対人関係に自信をつけてほしい。

b.自由に楽しく過ごす26件

- 興味があることをして過ごさせたい。ストレスがあると喘息やアトピーが激しいため。
- 無理強いしない。

c.工作・料理 24件

d.規則正しい生活 20件

- だらだら～ではなく、おおまかなスケジュールにそって。
- 一定の課題をこなし、あとは急速・昼食・遊びとそれなりに一日の流れがある生活。
- 学校と同じタイムスケジュールで簡単な手遊び程度。あまり内容のボリュームはなくていいので、職員がゲームやその他に手を取られるよりも多くの人を預かってほしい。

e.その他

社会性協調性を育てる 17件

- グループで何をするか計画し、協力しながら楽しむ。
- みんなで協力して一つの物を作り上げたり、集団ゲームなどして楽しんでほしい。
- 自立に向けた支援や団体生活のルール取得(基本的に学校のあるときのように、午前療育、午後はのんびり)

乗り物を使って外出し買い物する 16件

リラックス・休養 16件

- 一日の利用になるので、体をリラックスさせる時間(車椅子から降りて体を伸ばせる)確保。
- のんびりリラックスできる環境で家ではなかなかかまっていられないので、たくさん声かけしてもらったり、楽しい雰囲気の中ですごさせてやりたい。

- いろいろな姿勢をとらせてほしい。いろいろな刺激をあたえてほしい。  
スポーツ・体を動かす 14件
- 長期休みは通学しないので、体力が落ちているように思う。トランポリンなどの遊具で遊べることを希望。
- プールや外出できたらきっと楽しみになる。  
ルールがわかる遊び・ゲーム 7件
- ゲームなどの遊びを通しながら、社会のルールを学べるような場所であってほしい。(架空のバスに乗ったり、電車の切符をおもちゃのお金で買うなど)
- 他の利用者と過ごして、遊びの中でいろいろなルールを学び楽しんでほしい。
- 他の利用者とゲームなどの課題に取り組み、ゲームの体験を通じて社会的な側面(ルールや気持ちの持ち方)を育てるようなプログラムがあれば参加させたい。 …等

**(10) ⑥「放課後デイ」への期待、または子どもにどんな力をつけさせたいか**

『自立をうながすための支援』『社会性を育てる』『コミュニケーション力をつける』『ルールを理解しマナーを覚える』と、子どもの将来生活を考える意見が、すべてのグループで一番多い。その最初の段階として、親以外の大人に慣れることも期待されている。

一人での買い物・外出・時間管理など具体的希望も、自立につながるものである。

また、身体介助がある場合には、医療的ケア・車椅子からおりて体勢をかえる・ストレッチ・食事の介助など、様々な手厚い個別支援が必要なケースがある。

以下、件数が多い順に並べる。

**a.自立を目指すための支援 19件**

- 自立のため、親に依存した生活から、自ら人に助けを求められるように。
- ここで過ごすことにより、何でもいい、自分でできなかったことができるようになってくれたら、と子どもに望む。
- 放課後デイで決まってする仕事を、それぞれが各々できたら。植物の水遣り、トイレの点検、掃除、事務的作業の手伝いなど、何かその場所の仕事があれば、自分の居場所ができるのではないか。
- 小さなことの積み重ねで、一つでも多く「生きる力」を獲得できる場であってほしい。(家ではつい甘やかしてしまうので)
- 日々、自立に向けてやらせていることもあるので、相談しながらやっていきたい。

**b.友達と遊ぶ・交流 17件**

**c.買い物 17件**

d.社会性を育てる 15件

- 親以外の人と一緒にの方が、本人も力を発揮できることが多いよう。集団の中で落ち着いて過ごせ、将来につながるような得意なことも見つけられる場所、また応援して頂ける場所になってもらいたい。
- 学校の先生や親以外の方々と、一般的なルールを学ぶ場であってほしい。時間を守ったり、自分の意思(Yes,No)を伝える練習など。
- 人に頼りすぎず、適度な距離をもって対応してほしい。
- わからないだろうからしないのではなく、多くの経験をさせ刺激を与えてほしい。
- 家・学校以外の場所でも自分の気持ちをコントロールして、落ち着いて過ごせるようになってほしい。

e.コミュニケーション力をつける 15件

- 親以外の人に関わる力をつけさせたい。困った時に助けを求める、他の人に興味を持つ、自然で相手を不快にさせない話し方、距離の取り方など。
- 色々な人と関わること、色々な経験。人の話をきちんと聞けるようになってほしい。
- 親以外の人と一緒に過ごす、その中で自分の要求や、やり取りなどたくさんしてほしい。
- 他の人と交流することをおそれない、楽しむ力をつけてほしい。他の人を信頼する練習をして一緒にいて安心できる経験をしてほしい。

f.ルールを理解しマナーを覚える 13件

- 団体生活のルール・マナーを身につけてほしい。
- 家庭では体験できない、社会生活に必要な技術などの習得ができるような遊びやゲーム、規律のある生活などの体験をしてほしい。
- 自由な時間の中にもルールや社会性や生活上のスキルを身につける場となってほしい。親・先生以外の指示にも従える状態になってほしい。

その他

- 医療的ケアがあっても利用できるように。
- 親も預けっぱなしではなく家でも頑張るので、そのヒントになるようなことを。放課後デイと家庭、相互にリンクして子どもの生活の質を高めていけたら。
- ケガの無いよう、障がいの特性によって部屋を分ける。
- 異性との接し方を学ぶ。
- いつまで生きているかわからないので、何をしてほしいというより、楽しかったと思えることが大事。
- 親や学校の先生以外の人とも安心して過ごせ、意思を伝えられて、食事が出来る。  
(\*注\* 食事に身体介助が必要な場合、緊張すると食べられないことがある) …等